

大阪港夢洲地区の交通対策について

～大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会の開催報告～
(懇談会座長：上村多恵子)

大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会

- 2025年大阪・関西万博開催に向けた準備が本格化するなか、夢洲地区に流入する車両等による港湾物流への影響が懸念されていることを踏まえ、港湾関係者において現状・課題、周辺情報について情報交換・共有することを目的に、国際物流戦略チーム幹事会の下に「大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会」を設置（2019年12月に第1回会議開催）。
- 第6回懇談会（本年2月4日開催）では、夢洲における物流交通対策の進捗状況・CONPASの取り組み状況・万博開催期間中の交通影響について、情報共有し意見交換を行った。

第6回「大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会」

■ 日 時：2025年2月4日（火）16:30～18:00

■ 場 所：大阪港湾局 第8、9会議室

■ 出席者：

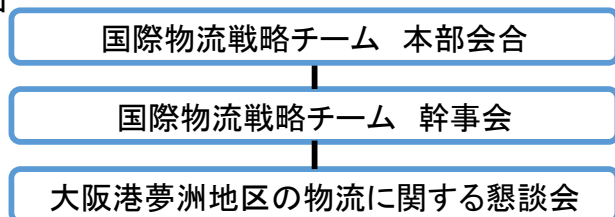
◎上村多恵子 ロジスティクス経営士（国際物流戦略チーム学識経験者）
梶谷 英樹 大阪港運協会 理事（業務部長）
村木 亮一 夢洲コンテナターミナル株式会社 事業所長
寺本 晃也 株式会社辰巳商会
複合輸送本部 港運部 港運事業所 所長（代理）
上野 耕一郎 一般社団法人大阪府トラック協会 常務理事（代理）
田中 利光 阪神国際港湾株式会社 代表取締役副社長
神田 彰 公益社団法人関西経済連合会 理事（地域連携部長）
オブザーバー：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
事務局：近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪港湾局

◎：座長 ※敬称略・順不同

■（参考）過去の開催実績：

2019年12月2日：第1回開催 2021年2月8日：第2回開催
2022年1月20日：第3回開催 2023年1月19日：第4回開催
2024年1月31日：第5回開催

■（参考）体制図



参考：国際物流戦略チーム「今後の取組」（2022年3月とりまとめ）



1. Withコロナ時代の国際物流ネットワークの構築

- 昨今の激甚化・頻発化する災害や新型コロナウイルス感染症が国際物流に与えた影響から、非常時にも機能する国際物流ネットワークの構築が一層重視されています。物流機能を維持するための防災・減災対策に取り組む他、国際海上コンテナ輸送の多方面・多頻度の直航サービスを充実させ、我が国立地企業のサプライチェーンの強靱化に貢献する国際コンテナ戦略港湾政策のさらなる深化を目指します。
- Withコロナ時代に求められる非接触・非対面型の効率的なデジタル物流システムへの転換に向け、民間事業者間の港湾物流手続を電子化するサイバーポート（物流分野）の普及や、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消等を目的としたCONPAS(Container Fast Pass)の導入を目指します。

2. 崩れないグローバルコールドチェーンの構築

- 農林水産物・食品の輸出額を2030年までに5兆円とする政府目標の達成に貢献するため、「産直港湾※」制度を活用して小口貨物の積替円滑化施設やリーファーコンテナ蔵置時の電源供給設備の整備を支援し、コールドチェーンの強化に取り組みます。
- ※ 農林水産物・食品の輸出入が我が国港湾からの直航サービスを活用した輸出行先となる港湾
- 新型コロナワクチン等の輸入が増加し、高品質な医薬品物流の実現への要請が高まる中、医薬品物流に係る国際認証の取得等に取り組みます。

3. 大阪・関西万博に向けた取組の推進

- 2025年開催の大阪・関西万博の会場となる大阪港夢洲地区及びその周辺地域における円滑な港湾物流を支えるため、周辺道路の拡幅や立体交差化、コンテナターミナルの物流機能強化等のインフラ整備に取り組みます。
- 港湾関係者や物流事業者、その他関係機関との連携により、大阪・関西万博の開催に向けた協力体制を構築し、物流交通対策を通じた交通円滑化を目指します。

4. 国際物流の脱炭素化（カーボンニュートラル）の推進

- 我が国の輸出入貨物の99.6%を取り扱い、多くの産業が立地する港湾及び臨海部における脱炭素化を通じて、環境に優しく持続可能な国際物流の実現を目指します。
- 脱炭素化に配慮した港湾・空港機能の高度化等を通じて、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポート(CNP)を形成する等、新たに環境価値を付加することで世界から選ばれる港湾・空港を目指します。

資料説明

➤ 夢洲における物流交通対策の進捗状況等

夢洲等における交通インフラ整備について、此花大橋・夢舞大橋・幹線道路の6車線化、主要交差点の立体交差化等が昨年12月までに概ね全て完了したことを報告。物流交通対策については、車両待機場の整備が昨年11月に全て完了し、C12荷捌地拡張部が本年2月に運用開始したこと等について報告。また、万博期間中におけるターミナルゲート時間延長や咲洲シフト（空コンテナ返却場所一時移転）実施に向け、港湾関係者と引き続き調整を進めることについて報告。

➤ CONPASの取り組み状況

大阪港夢洲コンテナターミナルにおいて、令和6年3月29日に運用を開始し、令和7年2月3日には、大阪港C12新ゲートの運用開始に伴うコンテナ車両の動線変更に併せて、CONPAS専用ゲート及び専用動線の運用を開始したことを報告。

➤ 万博開催期間中の交通影響

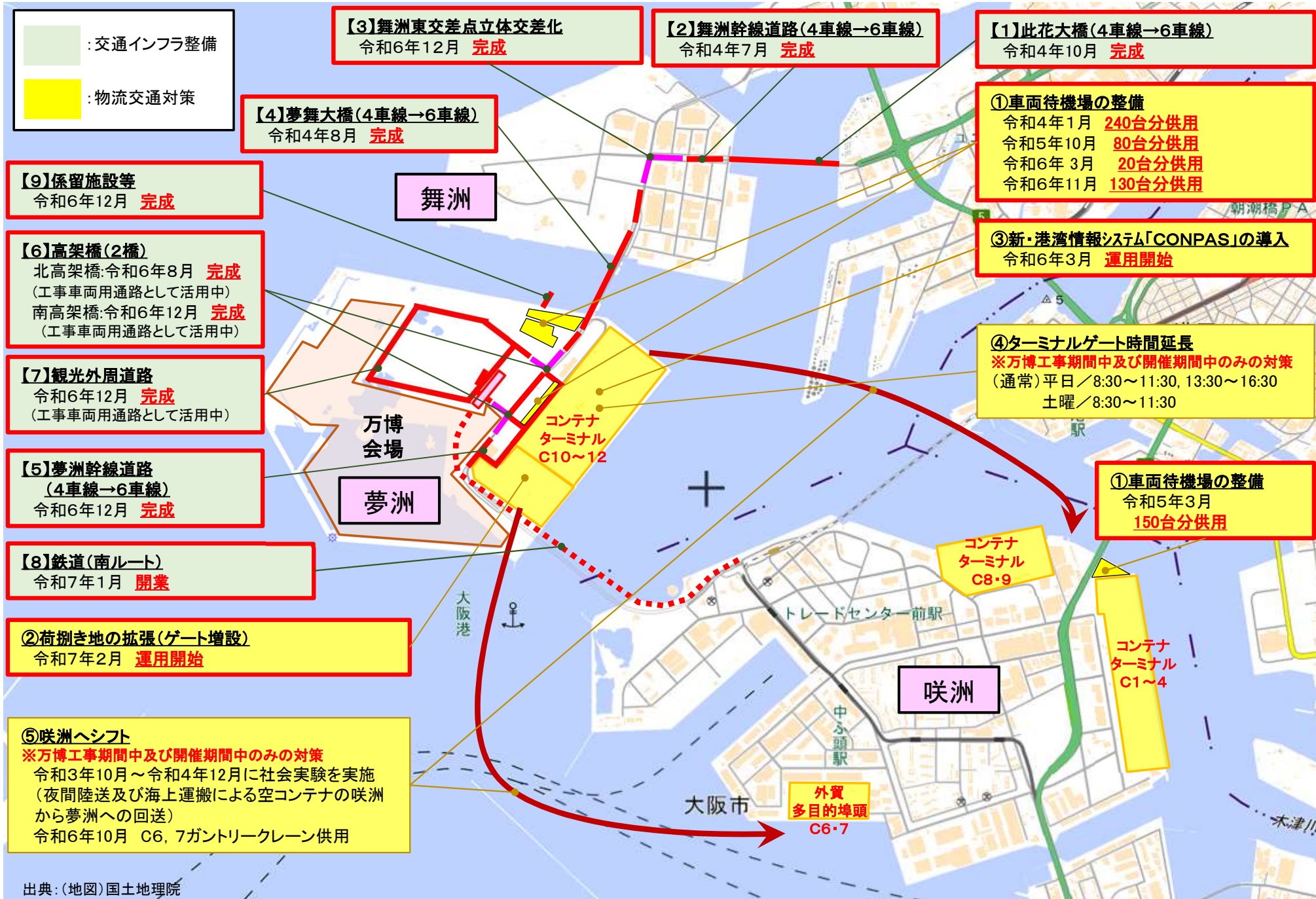
万博開催期間中の通行車両について、夢洲へのアクセスルートのボトルネックとなる交差点における交通影響を検討した結果、交通容量内に収まる見込みであることについて報告。また、万博開催期間中における万博来場者の円滑な輸送確保及び市民生活や経済活動への影響を最小限にとどめること等を念頭に、日々の交通状況のモニタリング・分析を行いながら、機動的に追加的対策を実施すること等について報告。

意見概要

- 物流車両動線への一般車両の進入など万博開催期間中に想定外の動きをする車両への懸念に対する意見があり、警備員の配置やガードレールの設置、道路の巡視等による対策について説明
- 工事車両が物流車両の通行の支障となっている事案に関して意見があり、工事関係者等に対する周知等を検討
- CONPAS含む夢洲コンテナターミナルの動線変更後の状況、今後のCONPAS利用拡大に向けた意見交換を実施

【参考】夢洲等における交通インフラ整備・物流交通対策について

【夢洲・舞洲・咲洲等における取組状況】



【参考】夢洲等における交通インフラ整備・物流交通対策 工程

2025年2月末時点

交通インフラ整備

物流交通対策

項目		2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	～ ～
大阪・関西万博			基本計画	検討・設計等	検討・設計等	整地・インフラ工事	ハビリオン建設等	撤去工事※	万博開催(4～10月)	※撤去工事完了時期未定			
IR			公募・設計等	●事業者決定	●区域認定 ●実施協定等締結 ●液状化対策工事の着手(2023年12月) ●IR準備工事の着手(2024年10月) ●IR建設工事の着手(2025年春頃)	工事							※工事の完了 (2030年夏頃) ※IR施設の開業 (2030年秋頃)
【1】	此花大橋(6車線化等)		設計等	工事(6車線化)	※万博開催後に歩道設置								
【2】	舞洲幹線道路(6車線化)		設計等	工事(6車線化)		工事							
【3】	舞洲東交差点立体交差化		設計等	工事									
【4】	夢舞大橋(6車線化)		設計等	工事(6車線化)		工事(歩道)							
【5】	夢洲幹線道路(6車線化)		設計等	工事									
【6】	高架橋(夢洲北)		設計等	工事									
【7】	高架橋(夢洲南)		設計等	工事									
【7】	観光外周道路		設計等	工事									
【8】	鉄道 (南ルート)	[事前調査]	基本検討調査等	設計等	工事(開業準備込)								
【8】		[インフラ部]		設計等	工事(開業準備込)								
【8】		[インフラ外部]		設計等	工事(開業準備込)								
【9】	係留施設等	(浮桟橋・待合所)	設計等	工事(浮桟橋)	設計等	工事(待合所等)							
【9】		(波除堤)		設計等	工事								
①	車両待機場の整備	夢洲での追加整備	詳細設計	工事	供用開始	設計	工事	工事	供用開始				
②	荷捌き地の拡張 (ゲート増設)	咲洲での追加整備	概略設計	詳細設計	工事	供用開始							
②		C12コンテナターミナル拡張※、 ゲート増設 (※ 増設ゲート周辺部分)	検討・協議等	詳細設計	コンテナターミナル拡張工事 増設ゲート工事	システム運用開始	運用開始						
③	CONPASの導入	新・港湾情報システム (CONPAS)	概略・詳細設計、 試験期間中の改修	試験運用等	順次導入								
④	ターミナルゲート 時間延長	昼休み等ゲートオープン 時間の延長	社会実験	検討・協議等						実施			
⑤	咲洲ヘシフト	空コンテナ返却場所一時移転	検討・協議等	詳細設計	C6.7ガントリークレーン整備					実施			



【参考】万博開催期間中の交通影響

- 万博開催期間中の通行車両について、**万博来場者・IR工事・一般交通（物流含む）の各車両ピーク台数の予測**値を合算し、厳しい条件のもと夢洲への各アクセスルートのボトルネックとなる交差点における交通影響が検討された。
- その結果、**夢洲・舞洲・咲洲**のボトルネックとなる交差点は、**交通容量内に収まる見込み**であるものの、**阪神高速湾岸舞洲出口**の繁忙期・通常期においては、**一部の時間帯で容量を超過**することとなったが、**IR工事車両の調整、および万博来場者車両の予約枠のコントロール**により、前回8時、9時、10時台で容量を超過していた**阪神高速湾岸舞洲出口を含め、容量内に収まった**。

影響検討結果まとめ

※各地点の最も厳しくなる方向・時間帯の1時間当りの容量と乗用車通行換算台数（pcu）を図中に記載



【参考】万博開催期間中の交通円滑化に向けて

- 万博開催期間中に、**来場者の円滑な輸送を確保**するとともに、**市民生活や経済活動への影響を最小限**に留めることを念頭に、**日々の交通状況のモニタリング・分析**を行いながら、**機動的に追加的対策**を実施。
- **道路異常時（事故等）の対応**として、**万博会場周辺及びシャトルバスアクセスルート**（高速道路除く）や**高速道路等の代替ルート**について**巡視を強化**し、異常時に迅速な対応を実施。
- 市長をトップとした「**大阪市道路交通円滑化対策会議**」を設置し、「**来場者輸送情報センター**」と**緊密に連携**し、交通情報を収集・共有のうえ、必要な対策を実施。

1) 万博会場周辺の道路交通のモニタリング・分析



① AIカメラ等によるモニタリング

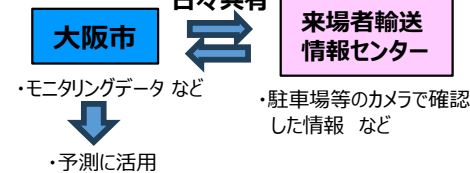
・AIカメラ等により、各ルートの主要ポイントの交通量をモニタリング

② 各車両の日々の増減傾向の分析

・物流車両、IR工事車両、一般交通の台数実績や推計値から、車両ごとの増減傾向を把握

※ ライブカメラで主要交差点の交通状況を常時把握

● 連携内容



2) 追加的対策の手法

① 追加的対策A（各事業の工夫により、交通量の状況に関わらず、予め期間を決めて実施する対策）

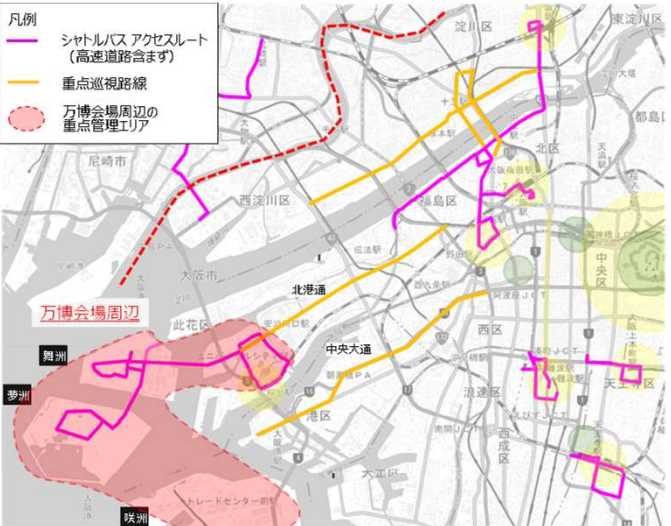
対象車両	対策メニュー	内容	実施期間（案）
IR工事車両	休工日の追加	万博来場者が特に多く見込まれる期間について、IR関連工事の休工を増やすなど今後調整【IR工事車両台数を削減】	開幕・GW・お盆・閉幕付近
一般交通	舞洲工場の搬入抑制	ごみ収集車両に対して、混雑時間帯に他の工場に搬入するなど、通行台数を抑制【12～36台/hの削減】	全期間

② 追加的対策B（交通量予測の結果、交通容量を超過する見込みとなった場合に、機動的に実施する対策）

対象	対策メニュー	内容
物流車両	ターミナルゲートの時間延長	時間外にゲートオープンし、物流車両の来場台数を平準化（開幕から数週間実施し、効果把握を行う予定）
	空コンテナシフト	空コンテナの返却場所を夢洲から咲洲等に一部変更【150台/日削減を想定】
IR工事車両	通行ルート・時間帯の変更	容量を超過する見込みのルート・時間帯において、IR工事車両の通行ルート・時間帯を変更
一般交通	働きかけTDM	・更なる協力をお願いについてTDM/パートナー企業等にメルマガ配信や情報提供 ・追加的な情報を府市のHP等に掲載

※ 追加的対策のメニュー及び内容については、万博開幕以降も効果的な手法を継続的にブラッシュアップ

3) 道路の異常時（事故等による通行障害など）の対応



・万博会場周辺の重点管理エリア、シャトルバスアクセスルート（高速道路含まず）や重点巡視路線について、巡視を強化し、異常時に迅速な対応を実施

・事故などの緊急時対応として、様々なケースを想定して、対応手順、情報の共有方法について関係者と協議、策定中

※ 重点巡視路線については、今後の関係先との調整により変更する場合があります

4) 大阪市道路交通円滑化対策会議の設置

・会議の設置期間は、令和7年1月～10月まで（令和7年2月に第1回会議開催予定）

